



2024年も残りあとわずか

今年も残り2週間となりました。師走は慌ただしい日々が続き、交通事故が増えやすい季節です。日の入りが早くなり、帰宅時には暗い道を通ることも多くなります。自転車のライト点灯や反射板の活用、ヘルメットの着用などを心掛け、安全確認を徹底して大切な命を守りましょう。一人ひとりの注意が安全への第一歩です。



思い出に残る修学旅行 ～750kmの長旅が紡ぐ学びと発見～

12月3日～6日までの4日間、2年生が新幹線を利用して京都と大阪を巡る修学旅行に出かけました。歴史と文化、そして現代の魅力が詰まった今回の旅は、生徒の皆さんにとって学びと感動にあふれる貴重な体験になったと思います。修学旅行を通して、日本の歴史や文化に触れるだけではなく、友人との絆を深める機会となり、自主性や協力することの大切さを実感した生徒も多かったのではないのでしょうか。

**1日目** 金閣寺は、美しい金色の外観と周囲の自然との調和が印象的でした。庭園も手入れが行き届いており、紅葉を楽しむことができました。清水寺は、その壮大な建築と美しい景観に圧倒されました。特に、本堂の舞台からの眺めは素晴らしく、京都市内を一望できる景色は心に残りました。周辺の土産物屋や飲食店も楽しむことができ、地元の名物を味わう良い機会となりました。  
(修学旅行委員会 委員長 目黒 弦太郎)

**2日目** 宝源院は建物の周りもみじで囲まれていて日本の秋を感じる事ができた。庭園の中では川が流れ、紅葉を見ることができて自然を感じる事ができた。着物の着付け体験では、実際に嵐山の町内を着物と下駄を履いて歩くことにより、日本固有の文化を学ぶことができた。渡月橋は川の流れと紅葉の調和を感じる事ができた。  
(修学旅行委員会 副委員長 不藤 優衣)

**3日目** 伏見稲荷大社では、おもかる石までの散策でしたが、朱塗りの鳥居が連なっており、圧倒されました。江戸時代以降に願い事が「通るように」または「通った」というお礼をこめて、鳥居の奉納が広まったことによるものだと言われているそうです。初めてのUSJはTDRとはまた違う楽しさを体験することが出来ました。アトラクションもクオリティが高く、迫力がありました。修学旅行を通して、計画性を持つことが大切だと改めて実感しました。  
(修学旅行委員会 副委員長 木村 亜優)

**最終日** 時間のない中でしたが、大阪城内の展示も見ることができ、天守閣まで上がり景色も楽しむことができました。今の大阪城は徳川家が立て直したものであるため、豊臣時代の大阪城も見てみたいと思いました。道頓堀では、グリコの看板を心齋橋で見ることができ、大阪の観光スポットを満喫できました。その中でも大阪名物のたこ焼きは別格に美味しく、本場のたこ焼きを知ることができました。  
(2年5組男子一同)



議会懇談会に参加～名取市議会議員と高校生が意見交換～

11月15日、名取市議会が主催する「議会懇談会」が名取市増田公民館で開催されました。本校からは8名の生徒が参加し、他校の生徒たちとともに名取市の「イイところ」「ワルイところ」について活発な意見交換を行いました。懇談会はカフェのようなリラックスした雰囲気の中、メンバーの組み合わせを随時変えながら少人数で話し合う「ワールドカフェ方式」で進められました。「イイところは「緑が多く、自然に恵まれている」「美しい景色が楽しめる」など、名取市の豊かな自然環境を評価する意見が多く出されました。一方で、「歩道が狭くて危険な場所がある」「水道料金が高い」「田んぼ沿いの道が夜間暗い」など、生活環境やインフラに関する「ワルイところ」に対する指摘がありました。

参加した皆さんには、この経験を今後の探究活動に生かし、さらに深い視点で地域の課題や可能性について考えていくことを期待しています。

名取市の未来を考える～魅力と課題を見つめて～1年阿部紗也加(名取一中出身)  
今回の議会懇談会に参加し、名取市の魅力や課題について改めて考える貴重な機会を得ました。参加者一人ひとりが感じる名取市の可能性について具体的な意見が交わされ、市民だけでなく議員の方々も一体となって地域をより良くしようとする姿勢に感銘を受けました。特に、名取市の豊かな自然環境や交通アクセスの良さを魅力として挙げる意見に深く共感しました。一方で、学生が遊べる場所の少なさやバスの本数が少ないといった課題も議論され、これからの政策に大きな期待を寄せています。また、地域住民の声を名取市の発展に活かそうとする議員の方々の熱意に触れ、今後の地域づくりに向けて私たち市民のさらなる協力が必要だと強く感じました。このような意見交換の場が継続的に設けられることで、より住みやすい地域づくりが実現するのではないかと期待しています。



## 空道全日本大会 4連覇達成

1月3日、国立代々木競技場で開催された全日本空道ジュニア選手権大会に、2年生の熊谷慈英さん（岩沼中出身）が出場し、見事4連覇を達成しました。この快挙は新聞にも取り上げられ、多くの方々から大きな称賛と祝福の聲が寄せられています。

熊谷さんは日々の練習に真摯に取り組み、技術と精神力を磨き続けてきました。今年7月の県大会、そして9月に行われた東北大会でも優勝を果たしており、これらの努力が今回の素晴らしい結果につながったと言えるでしょう。

さらに、熊谷さんは6月15日にイタリアのローマで開催された2024年ヨーロッパ空道選手権大会においても、日本代表として出場し、世界の強豪を相手に堂々とした戦いを繰り広げました。

今後もさらなる高みを目指して挑戦を続ける熊谷さんを皆で応援していきましょう。



練習に熱が入る熊谷さん(左)と相原さん



全国大会を制覇した熊谷さん(右)と相原さん

**熊谷さん (名取北高) V4**  
**相原さん (仙台育英高) V3**  
 全日本空道ジュニア選手権

東京で今月3日に開かれた全日本空道ジュニア選手権大会で、名取市の道場に通う名取北高2年の熊谷慈英さん(17)と岩沼市にと、

仙台育英高1年の相原琉唯斗さん(16)と名取市がそれぞれ4連覇と3連覇を果たした。互いに切磋琢磨する2人は、さらなる飛躍を

誓った。空道は突きや蹴りで争う空手に、投げ技や寝技など柔道の技も加わった総合格闘技。地方予選を経て、19歳以下が体重と身長合計値ごとに5階級に分かれ、日本一を競った。

熊谷さんは小学2年から練習を重ね、体格を生かした蹴りや投げ技を武器に5度目の優勝。「相手に研究されても、それを上回る戦いを意識している。世界で結果を出せる選手になりたい」と喜びを語った。

相原さんは3歳で競技を始めた。成人クラスでも世界で勝てる選手になってほしいし、社会で役立つ人間性も磨いてほしい」と成長を期待した。

2人は昨年5月の世界ジュニア選手権大会でも好成績を残している。

2人が通う「大道塾しげき道場」の佐藤繁樹師範は「成人クラスでも世界で勝てる選手になってほしいし、社会で役立つ人間性も磨いてほしい」と成長を期待した。

2024年(令和6年)11月28日 河北新報 朝刊 掲載

## 制服の素材・ウールの性能を知る

11月14日・15日両日、1年生全クラスを対象に、家庭基礎の授業の一環として、日本毛織株式会社(ニッケ)衣料繊維事業本部より講師をお招きし、出前授業を実施しました。本授業は、実験を交えながら身近なものに対する新たな視点や未来への可能性に気づきを得ることで生徒の興味関心を引き出し、実生活の改善に役立てることを目的としています。生徒たちは、講師の方のわかりやすい説明と実験の楽しさを通じて、繊維や衣服への興味を深めるとともに、日常生活に直結する知識を学ぶ貴重な機会を得ました。今回の出前授業を通じて、企業の技術や製品に触れることで、物事を多角的に考える力を養うきっかけとなりました。このような貴重な機会を提供して下さった日本毛織株式会社に、心より感謝申し上げます。



## 赤い羽根募金街頭募金に参加

11月9日(土)、奉仕活動部の生徒たちが地域貢献の一環として、フレッシュキキチ名取増田店で行われた赤い羽根街頭募金活動に参加しました。生徒たちは「誰かの助けになりたい」という思いを胸に、一生懸命声をかけながら募金を呼びかけ、多くの方々から温かいご協力をいただきました。この活動を通して、生徒たちは地域の支え合いの大切さを改めて実感するとともに、奉仕の心を育む貴重な経験となりました。励ましの言葉をかけてくれた皆さま、ご協力いただいた皆さま、大変ありがとうございました。



## ◎1月の行事予定◎

6日(月)～7日(火) 3年共通テストリハーサル  
 8日(水) 開講式  
 17日(金) 2年総合学力テスト  
 18日(土) 1・2年総合学力テスト



20日(月) 3年共通テスト自己採点  
 25日(土) 英検※本校会場  
 31日(金) 2年共通テスト模試～2/1

